

令和元年6月 28 日

室蘭労働基準協会長 殿

室蘭労働基準監督署長



転倒災害の防止に向けた取組について(協力要請)
－「STOP！転倒災害プロジェクト」による転倒災害の防止－

労働基準行政の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、厚生労働省では、休業4日以上之死傷災害のうち最も件数が多い転倒災害の減少を図るため、平成27年1月から、「STOP！転倒災害プロジェクト」を継続して実施しております。

北海道における休業4日以上之転倒災害は、平成30年において1,909件発生しており、前年比で0.9%減少しましたが、休業4日以上之労働災害全体の27.9%という高い割合を占めています。

また、当署管内におきましては、平成30年は76件発生し、全体の33.1%という高い割合を占めております。今年5月末現在においては、前年同期の45件から24件に約半減しているものの、高齢化の進展や冬季の路面凍結など、引き続き転倒災害防止対策を推進していく必要があります。

つきましては、本プロジェクトの趣旨を御理解いただき、傘下会員事業場に対する本プロジェクトの取組についての周知啓発にご協力いただきますようお願い申し上げます。

※ 「STOP！転倒災害プロジェクト」のリーフレットは、厚生労働省のホームページ及び北海道労働局ホームページからダウンロード出来ます。

《担 当》

〒051-0023

室蘭市入江町1-13 室蘭地方合同庁舎4階

電話(0143)23-6131 FAX(0143)22-5213

室蘭労働基準監督署 第2方面



STOP! 転倒災害

プロジェクト

転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート



| チェック項目 | | <input type="checkbox"/> |
|--------|--|--------------------------|
| 1 | 通路、階段、出口に物を放置していませんか | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 転倒を予防するための教育を行っていますか | <input type="checkbox"/> |
| 5 | 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか | <input type="checkbox"/> |
| 6 | ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか | <input type="checkbox"/> |
| 7 | 段差のある箇所や滑りやすい場所などを標識などで注意喚起していますか | <input type="checkbox"/> |
| 8 | ながらスマホやポケットに手を入れたまま歩くこと、手すりを持たない階段の昇降などを禁止していますか | <input type="checkbox"/> |
| 9 | ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか | <input type="checkbox"/> |

チェックの結果は、いかがでしたか？

問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！ 次頁の「見える化」も効果的です!!



まずは、職場内で情報共有

転倒危険場所を見える化しましょう！

転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、労働者への共有を図ることが大切です。危険場所に下のステッカーの掲示を行うなど、**転倒の危険を見える化しましょう！**

※下のステッカーは、「STOP！転倒災害プロジェクト」のホームページからもダウンロードできます。

..... 切り取り線

転倒危険！



コメント

..... 切り取り線

STOP! 転倒災害プロジェクト

厚生労働省と労働災害防止団体では、転倒災害を撲滅するため「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。

STOP! 転倒

事業者の皆さまは、職場の転倒災害防止対策を進めていただくとともに、適時にチェックリストを活用した総点検を行い、安全委員会などでの調査審議などを経て、職場環境の改善を図ってください。

転倒災害の特徴

特徴1 転倒災害は最も多い労働災害!

休業4日以上労働災害、約12万件のうち、転倒災害は約2.8万件と最も多く発生しており、近年増加傾向です。

特徴2 特に高齢者で多く発生!

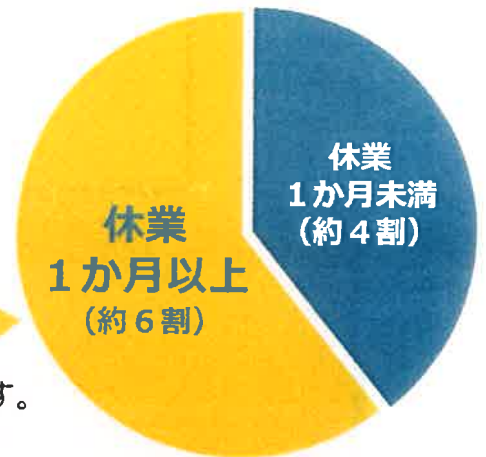
高齢者ほど転倒災害のリスクが増加し、55歳以上では55歳未満と比較してリスクが約3倍に増加します。

特徴3 休業1か月以上が約6割!

転倒災害による休業期間は約6割が1か月以上となっています。

特徴4 冬季に多く発生!

降雪の多い地域では、冬季に多く発生しています。



「平成29年転倒災害による休業期間の割合」労働者死傷病報告（厚生労働省）より作成

転倒災害の主な原因

▶ 転倒災害は、大きく3種類に分けられます。皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？

| 滑り | つまずき | 踏み外し |
|--|---|---|
|  |  |  |
| <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> 床が滑りやすい素材である。 床に水や油が飛散している。 ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落ちている。 路面等が凍結している。 | <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> 床の凹凸や段差がある。 床に荷物や商品などが放置されている。 | <p><主な原因></p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな荷物を抱えるなど、足元が見えない状態で作業している。 |

転倒災害防止対策のポイント

▶ 転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。

| 4S (整理・整頓・清掃・清潔) | 転倒しにくい作業方法 | その他の対策 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 歩行場所に物を放置しない 床面の汚れ（水、油、粉など）を取り除く 床面の凹凸、段差などの解消 | <ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕を持って行動 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行 足元が見えにくい状態で作業しない | <ul style="list-style-type: none"> 移動や作業に適した靴の着用 職場の危険マップの作成による危険情報の共有 転倒危険場所にステッカーなどで注意喚起 |

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！
「STOP! 転倒災害プロジェクト」

STOP! 転倒